

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標数	本年度の実績数	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
08230かすみがうら市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	令和7年度より市内の小中学校に順次コミュニティ・スクールを導入する。学校運営協議会がスムーズに開催できるよう支援する必要がある。	昨年度先行して学校運営協議会推進委員会を立ち上げた霞ヶ浦中学校区は、5月に学校運営協議会として市内のモデルとして先行実施をしていく。下稻吉中学校区、千代田義務教育学校区は6月に学校運営協議会推進委員会を立ち上げ、CSマイスター等の研修を行い、11月に学校運営協議会を設置する。	霞ヶ浦中学校区(霞ヶ浦中学校、霞ヶ浦南小学校、霞ヶ浦北小学校)で学校運営協議会に向けた準備組織として学校運営協議会推進委員会を設置した。先進地の視察や講師を招いての研修を通して、学校運営協議会について理解を深めた。	今年度中に、市内にある霞ヶ浦中学校区(霞ヶ浦中学校、霞ヶ浦北小学校、霞ヶ浦南小学校)、下稻吉中学校区(下稻吉中学校、下稻吉小学校、下稻吉東小学校)、千代田義務教育学校区(千代田義務教育学校)に学校運営協議会を設置する。	学校運営協議会の設置数	0	校区	3	3	03 本年度の目標達成し、課題の改善が見られた。学校と地域が、子供たちが抱える課題や、地域でどのような子供を育てていくのか、また、何を実現していくのかといった目標を共有する学校運営協議会における基盤づくりが進んだことは、大きな成果である。一方で、目標達成に向けた取組を実践へとつなげるための体制整備が十分とは言えず、協力体制の構築が課題である。次年度は、活動の企画・調整等を担う地域学校協働活動推進員を配置し、協議内容を実践へと結び付け、連携・協働体制の一層の充実を図る。	https://www.city.kasumigaura.lg.jp/page/dir003336.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。